

初めまして、ガイ・ジンと申します！

株式会社パンだは海外進出したいと計画しています。太田課長は外国人を雇えば、海外進出に役立つと思っています。そこで、太田課長は伝統的なアメリカ人「ガイ・ジン」を雇いました。ガイ・ジンはビジネスマナーや敬語を知らないので先輩は彼を様々な面で手伝わなければなりません。

キャスト:

ジン：クエントン

ニコ先輩：ニコ

マーキー先輩：マーキー

太田課長：ジリアン

太田花子：ジリアン

お客様: マーキー

Scene 1

太田課長:皆さん本日から新しい仲間が増えます。新入社員はニューヨークから来ました。日本語を勉強しているから手伝ってあげてください。(down the hall)では、ジンさん来て。(enters the room) ジンさん、自己紹介してください。

ガイ・ジン:よっ！ガイ・ジン(guy Jean)です。

*先輩1&2: (shocked)(voice over) え？外人？

k太田課長: ガイ・ジンさんよろしくお願ひします。

ガイ・ジン：よろしくな。

*先輩1&2: (look at each other shocked) (voice over) だれこれ?!?!?!

太田課長：ガイ・ジンさん、それがあなたの机です。E-Mailをチェックして、大事なE-mailに至急返事して。

(Guy jean sits at his desk)

(Starts writing notes from emails)

先輩2：あの、メモを書きますか。

ガイ・ジン：ん？なんで？

先輩2：メモを書くときに、5W3Hを使ってください。(1-5)

ガイ・ジン：おっけー

(Guy Jean gets up and leaves without saying anything)

先輩2：すみません。ガイ・ジンさん、外出する理由、場所、何時に戻るかを先輩に言ってください。でも、先輩がいなければ、ボードにメモを書いてください。

ガイ・ジン：あ、分かった。

(Guy Jean passes 先輩1 without 挨拶)

先輩1:すみません。ガイ・ジンさん、ちょっといいですか。

ガイ・ジン:ん？何だお前？

先輩1：私は（先輩の名前）と申します。あなたの先輩です。あなたを手伝って上げたいのです。最初にあなたのビジネスマナーは少しおかしいと思います。

ガイ・ジン: はっ？どういう意味？

先輩1：例えば、自己紹介する時にはっきりゆっくり名前を言って(1-1)。。。挨拶。。。目を見て。。。お辞儀。。。目上と先輩と。。。敬語。。。服装。。。グレイ、黒、紺。。。ネクタイ。。。直す（the。。。will be where we insert the Charlie Brown sound effect）

ガイ・ジン：君が言う通り、君のネクタイを直す。(Guy Jean will tighten 先輩1's tie)

(girl 1 and Guy Jean pass in the hall)

太田花子：(bow)(1-3) おはようございます。

ガイ・ジン：おはようございます。

太田花子：あの、私は偶然その会話を耳にしました。ビジネスマナーの練習頑張ってくださいね。

ガイ・ジン：あ、はい頑張ります。

(Right as it becomes 5 Guy Jean will get up and dart out)

先輩2：5時になったら、ガイ・ジンさんは急いで書類を提出して、なにも言わないで帰りました。(1-4)

太田課長：明日（あす）ガイ・ジンさんにそれはよくないと教えてあげてくれ。

先輩2：かしこまりました。

太田課長：じゃ、私は帰る。ご苦労様で。

先輩1&2：お疲れ様でした。

(The next day Guy Jean comes better dressed)(1-2)

Scene 2

太田課長はガイ・ジンとお客様を会わせたい。ガイ・ジンは敬語を使えないのでニコ先輩はガイ・ジンを手伝って上げたい。

太田課長: ガイ・ジンさん、本日お客様と会議があるから君に頼む

ガイ・ジン:えー、めんどくせえな。。。分かった。

(Senpai 1 overhears conversation)

ニコ先輩: (Senpai inner monologue) え！ガイ・ジンさんに頼んだ？！ガイ・ジンさんがお客様と話したら、私達の会社が終わりに成ってしまいます！ガイ・ジンさんに敬語を教えなければなりません。

(Senpai 1 looks for Guy Jean, finds him talking to customer already)ニコ先輩:ダメダメ～！

(Guy Jean finishes talking to customer in colloquial Japanese)

先輩:ガイ・ジンさん！お客さまに敬語を使わなかったでしょう！

ガイ・ジン:へー、どういうこと？

ニコ先輩: お客様に話す時は、敬語を使うことが必要です。尊敬の気持ちを表すためだからです。例えば、尊敬語の言葉「いらっしゃる」とか「召し上がる」とかを使う。。。)

(Charlie Brown noise)(Guy Jean not listening)

ニコ先輩: (Senpai finishes explanation) 分かりますか？

ガイ・ジン: まー、いいや、分かったよ分かった。。。。

(Guy Jean walks away)

ニコ先輩: 本当に分かるかな。。。。

(Guy Jean passes by 美人)

太田花子: あ、ガイ・ジンさん、こんにちは！先程課長と話しているところを見ました。尊敬語や謙譲語を使えるようにがんばって！

(Next day)

太田課長: ガイ・ジンさん、本日もお客様に会って。

(Senpai overhears)(Guy Jean nods)

ニコ先輩:(Inner monologue) いやー、ヤバいよ。。。。

(Guy Jean meets Customer)(Senpai overhears)

お客さま: ソニーの秋元と申します。先日はありがとうございました。

ガイ・ジン: こちらこそ、ありがとうございました。まず、本日は。。。。

(Guy Jean has conversation with customer)

ニコ先輩: 本当に勉強したね！良かった～！

Scene 3:

ジーン: (会社の名前)のジーンです。いつも世話になってます。

会社の課長(confused look): あ。。。こちらこそ、いつもお世話になっております。

ジーン: この間の問_toi合わせの件(ken)について、至急(chikyuu) F A X をそちらに送りますので、よろしくお願い致します。

Sempai: イライラした顔をしている

会社の課長: あ。。。はい分かりました。

ジーン: その他に分からないところがございましたら、聞いていただけますか？

会社の課長: はいありがとうございます。

ジーン: じゃよろしくお願い致します。失礼します。

会社の課長: あ。。。はい失礼致します。

Sempai:(inner monologue) 何考えてんねんあいつ

Sempai: ジーン君、人前だけではなくて電話をする時にも敬語を使わなければなりません！

「ジーンです」ではなくてジーンと申します。この間ではない！先日です！あと「送ります」

は「お送ります」になります！そしてー(3-1&3-3)

+++++

+++++

ジーン(interrupts): あ。そう。はいはいわかった。(walks away)

(walking the hallway and passes by 花子さん)

花子さん: こんにちはジンさん！

(ジン walk passed her and is amazed)

ジン: おい、先輩。あの子はだれ？

先輩2：あの人は花子さんです。なんで花子さんのことを聞いたんですか？

ジン：別に

先輩1：ええ、ジンさんは花子さんに興味がありますか？

ジン：ん、あるかもな。(looks away and says line little embarrassed)

(先輩1 & 先輩2 look at each and grin)

先輩2：あー、なるほど！花子さんのタイプはビジネスマナーを守っている人だと思いますよ。

ジン：まじで！？俺のビジネスマナーは大丈夫じゃない？

先輩1：まあ。。。えっと。。。

先輩2：もっと良くなれば花子さんが振り向くかもしれませんよ！

ジン：えっ！

先輩2：ジンさん頑張ってください！

Scene4:

ニコ先輩：さて、敬語の使い方を教えてあげましょうか。いつ「お」と「ご」を使いますか？

ジン：ええ。「ご」は中国からの言葉に付ける。ご花とか、ご天気とか。だろー？

ニコ先輩：ああ。。。実は「お花」と「お天気」が正解です。一般的に「お」は訓読みの和語につけて、「ご」は音読みの漢語につきます。(3-5)

ジン：何(なん)なんだよ、そんなに難しいルール！

ニコ先輩：そんなに難しくありませんよ！そしてクッション言葉を聞いたことがありますか？

ジン：ん？何(なに)それ？

ニコ先輩：クッション言葉はスムーズにコミュニケーションができますよ。

ジン：スムーズって。。。あ、なんか分かった。花子にスムーズにコミュニケーションをするか。(ジンがニヤニヤしている)先輩にクッション言葉をもっと早く教えて欲しかったなあ。

ニコ先輩：なんでニヤニヤしているんですか？クッション言葉を勘違いしていますよ。ジンさん！

ジン：俺クッション言葉勘違いしてるのか？

ニコ先輩：そうですね！「クッション言葉」とは相手をお願いする時に言葉の前に付け加えることで、会話をクッションのように柔らかくする言葉です。例えば、「すみません」じゃなくて「申し訳ございません」を使いますが、相手の気づかいを仕方なく断る時には「せっかくですが」を使いますよ。今度使ってみてください。(3-2)

ジン：へー、分かった。今度使ってみようっと！

(花子 sees him studying)

花子：すごいですね、ジンさん！お勉強頑張って下さい～(ジンのやる気が出る)

マーキー先輩：おー、ジン君、今やる気満々じゃないですか？さて、課長とお昼ご飯を食べに行きましょうか？

ジン：うん、飯食うぜ！

Scene 5: (待ち合わせ場所に着いた)

ジン：あー、まじ腹減ったな！あれ、みんなどこに行ったっけ？

花子：お待たせジンさん！

ジン：あれ、花子なんでここに。。。 (ジンinner monologue) 待ってジン、落ち着け！これはいいチャンスだよ。

花子:あれ先輩たちは？

ジン:あとで来るかもしれません。花子さんは何をお召し上がりになられますか？

花子:ジンさん、それ過剰敬語です。

ジン:過剰敬語ってなんですか？

花子:過剰敬語とは一つの文の中で敬語を使いすぎる事です。なにを召し上がりますか？って大丈夫ですよ。

(3-4)

(初めての社外文書を書いた)

ジン：おいマーキー！

マーキー先輩 (イライラした顔をしながら) :ああジン君。どうしたんですか？

ジン：これをチェックしてくれよ。

マーキー先輩 (深い息を吸ってびっくりした顔をする) :えっ！ジンさんすごいですね！本当に自分で書きましたか？！

ジン：まあね

マーキー先輩:素晴らしい！一つだけ間違いがあります。文書に数字を書くときは漢数字ではなくアラビア数字を使います。日本と他の国の数字の形が違うからです。ところで。。。私の名前を呼ぶとき、マーキー先輩またはマーキーさんと呼んで欲しいのですが。。。

ジン(takes paper back) : サンキューなマーキー！



